



IDEA

1969. 1.

25号

提案制度運営委員会 ・ 発行責任担当委員



賀正

1969

1・1

今回のテーマ

新製品開発

1人のチエは1人のチエです。グループで集まって考えよう

○カメラとアクセサリーのデザイン、性能等未発表のもの

○締切 44年2月11日

ペトリカメラ株式会社

12月期 提案制度採用案件紹介

43. 12. 24. 柳沢審査委員長他 6 名の方々に厳正な審査が行われ、下記の案件、方々が採用されました。

6 級

埼玉光学 班長 []
 (平行出し測定 of 能率化と安全の改善)

7 級

埼玉光学 []
 (プリズム荒摺工程における治具改良)

7 級

組立 1 課 []
 (レンズシャッター前面反射光線除去治具)

7 級

製品検査 班長 []
 (V6 カウンターノックの処理変更)

記念品 組立 1 課 []
 製品検査 []

声

—— 延べ700人の提案者の中から、数名の淑女、諸君に登場願ひ、いろいろ伺がってみました。

その一部を紹介しましょう。

問 1 案件が採用された時の感想は？

◇うれしい！の一言につきます。

特にお金の時はなおさら……。 (S)

◇採用されるとは以外だった。 (M)

問 2 賞金をもらった時の気持は？

◇……………。

問 3 仕事に反映されているのをみて、どんな気持がしますか

◇提案がどんなところに反映されているのかわからない。 (I)

◇すぐ反映して欲しかったが、今では仕事の時間短縮が実現されたのでうれしい。 (M)

◇とっても良いことだと思う。 (I)

問 4 また提案したいと思いますか？

◇アイデアが浮んでくればね……。 (S)

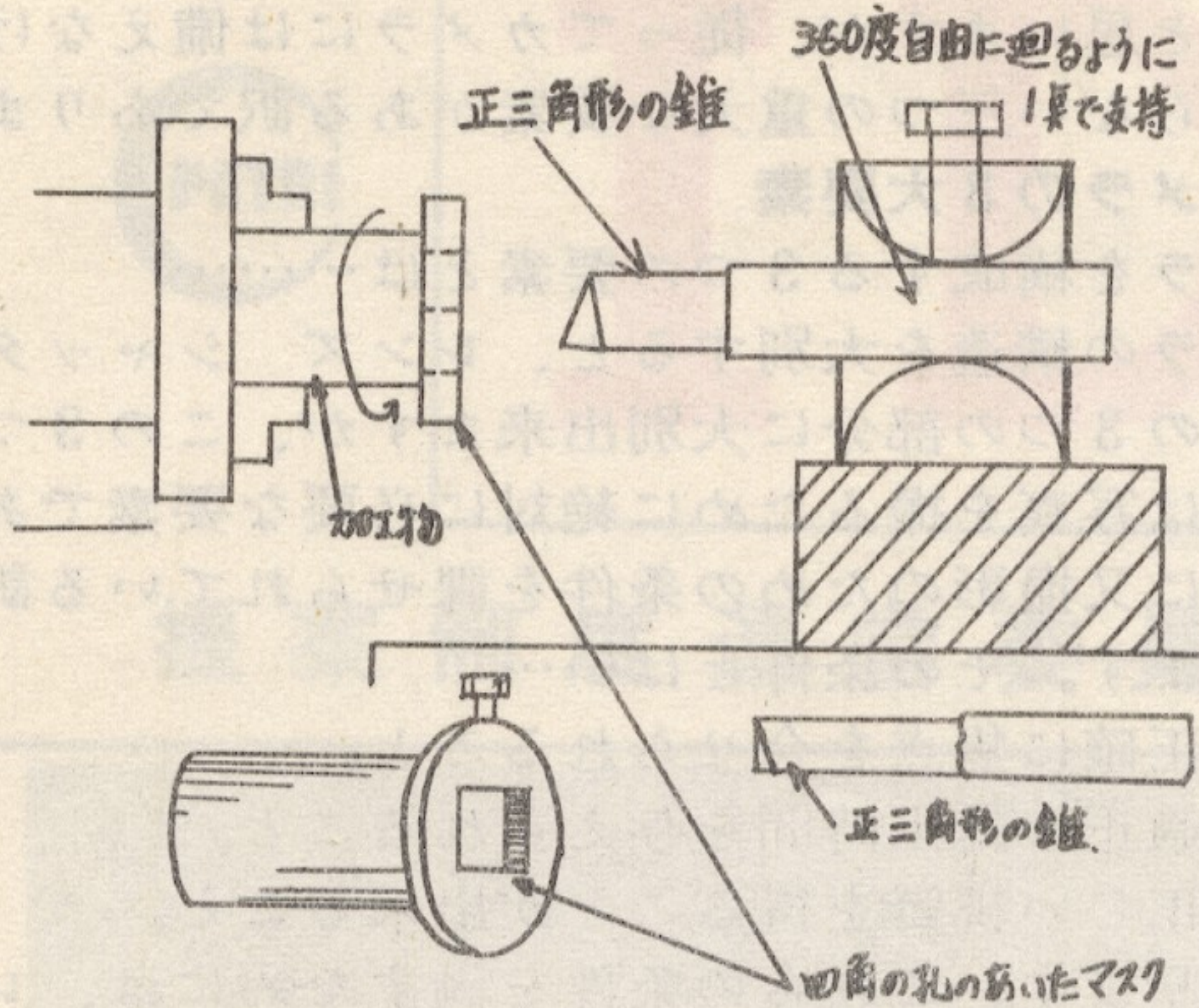
◇私達の提案が、仕事に反映しているのを見ると、また次の提案に力を注ぎたくなります。 (I)

委員会よりのお知らせ

提案用紙は下記の人達が持っています。

一般事務関係	総務	[]
部品製造部	部 1	[]
	部 4	[]
組立製造部	本部	[]
	"	[]
光学部	本部	[]
		[]
シャッター部		[]
埼玉 S S		[]
		以上

四角の孔開けガイド



「ヤア、昨日はスッカリアパートのオヤジさんに奢らせてしまいましたよ……」

と威勢よくH君が話し出した。

「実はアパートのオヤジさんと“賭け”をしたのです。“旋盤に品物を取りつけて回転させ、この中にキリを突き込んで四角の孔を開けることができるだろうか”とね……」

「フーン……」

「そうするとオヤジさん、即座に“そんなことできっこないよ、第一品物は回転しているんだらう……。どんなキリを使ったって、回転している以上、円くあくよりほかないじゃないか”と云い張るんです…。こりゃア、誰れだってそう思うでしょうからネ……」

「へー、それで君は“四角な孔が開く”と云うのかネ……」

「そうです。これは関口八重吉博士の“工作機械”という本にのっているんですが……。実は僕も“そんな不思議なことが?”と思って実験してみたのです……。ところが、実際にあくんですよ。

それは、

◇品物にマスクをかぶせ、マスクには四角の孔を開けておく

◇四角の孔の一辺を、一辺とする正三角形のキリを作り、二番を中心に向ってとる

◇キリの支点を一点とし、360度、回転可能にしておく。

と云うようにして、キリを品物の中に押し込むと、キリの刀部が正方形の四角のフチに沿って動き、品物は回転しているにもかかわらず四角な孔が開くんです……」

「ホォー、そうかネー……」

「アパートのオヤジさん、東京で30年も旋盤を使っており、退職金でアパートを新築して余生を送っているんですが、かねがね“年をとっても旋盤を使わせたら……”というのが一杯呑んだときのセリフだったんで、ちょっと、カラカッてみたという訳なんです」

「“本当にそんなことができるなら、一番好きなものを奢ってヤル!”というので、それでは……と、昨日実験道具を一式持っていつて見せたところ、オヤジさん、スッカリかぶとを脱いで……“へー、こんなことができるんだネ”と感心して、ビールと天井を御馳走になったという次第なんです。」

「フーン、常識ではちょっと考えられないが本当にできるんだネ……」

と私も実験道具を見せられて心から感服したものである。

目的に対して“今のやり方一つしかない”という考え方では改善は絶対に出来ない。「目的は一つでも手段は幾つもある」との視野の広い気持が私達を常に改善と向上への道へと導いてくれることになる。そして常に弾力性のある態度を持つことが改善にとって何よりも大切なことである。

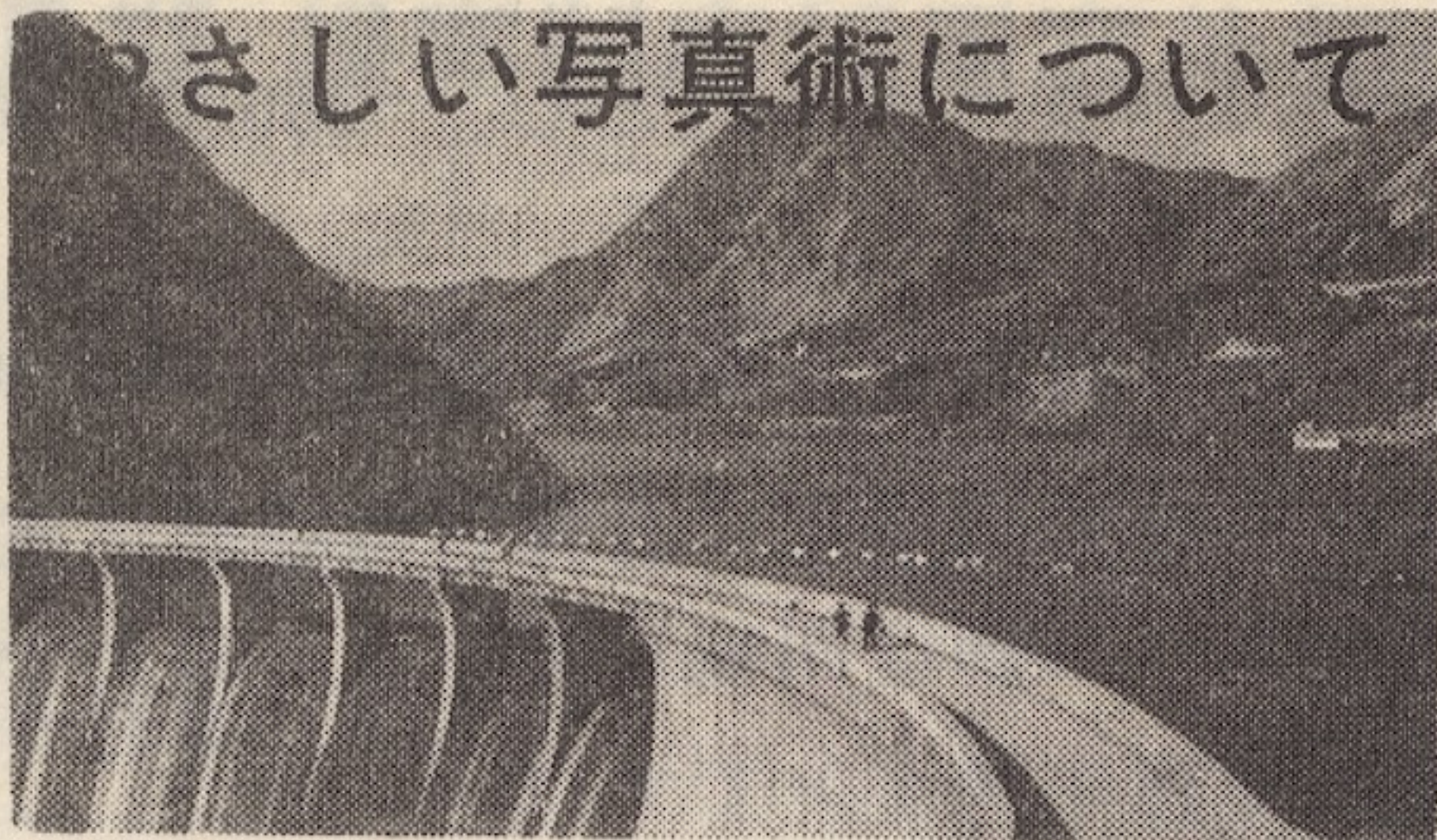
“改善を考える”のは“着想を掴む”ことが一番の仕事です。そこでこの着想の“定石”をマスターすれば改善案を考えることは大いに容易になるであろう。

(T・Y)

◎ 気をつけましょう

部品や製品の空箱は必ず蓋をし、蓋のないものはサカサに置くようにしましょう。

箱にゴミ等が入っている場合は中に入れる部品や製品に悪い影響を及ぼします……。



こう屋の白ばかまと云う諺のある様に、カメラ会社の従業員でもカメラのことを全く知らない人も居る筈です。そこで皆さんと共にこのアイデア誌を通じて、カメラの持つ使命と条件を商品価値的に今一度ふりかえって見ると同時にその原理を学ぶことは決して無駄ではないと考え寄稿したものです。

◆不思議なひかり

休日の朝などに、外から差込む朝の光りに心よい目覚をすることがありますが、そうしたとき雨戸の節孔からかすかな光りが差込んで壁に外の影色を写しているのを見たことはありませんか。これは光りは直進すると云う誰でも知っている原理によって起きた現象です。又光りは屈折する性質を持っていますのでこの性質を活用して出来たものがレンズであります。又レンズによって出来た画像を記録するものに感光材料と云う物があり、又その記録をさせる物がカメラなのであります。従って私共はカメラを知ると同時に感光材料についてもある程度知って置く必要がありますのでここで簡単に説明して置きます。

◆フィルムのいろいろ

真夏の強烈な太陽が私たちの皮膚を真黒に焦がすことは私たちの皮膚が感光性を持っているからであります。しかし感光性は持っていてでも感光する速度が鈍いのでは写真には使えない訳で、写真に用いる感光材料として実用になったものはダゲレオタイプで有名な沃化銀であります。しかし現在のように超高感光度のものが要求されるようになってからは真化銀塩化銀沃化銀等の高感光性物質が使われるようになって来ました。フィルムはベースのポリエステルにこれらの感光性物質の結晶をゼラチン液で塗布したものであります。そして現在のフィルムの感光度はASA 100を標準にしてマッチ棒1本の光りでも感光する超高感光度のフィルムも出来て居る状況であります。

◆ASAとDIN

ASA(アメリカ式)、DIN(ドイツ式)はフィルムの感度を表す記号で日本では主としてASAを使っています。

カラーフィルムにリバーサル(スライド用)とネガ(引伸用)と二種類がありますが、但しネガからスライドが、スライドから引伸写真も出来るようになって居ります。35mmフィルムの枚数は白黒で20枚と36枚、カラーで12枚と20枚になって居ります。写真は光の与えられたフィルムを現像処理と云って現像液によって化学的に還元作用を起こさせ光の当たっている部分又は強弱によって濃度を変化させ画像を再現するものであります。従って

カメラは写そうと思った画像を適度な光量と尖鋭な画像にしてフィルム上に与えられる使命を持っているものであります。ここまで書けばもうわかりと思いますが、従ってカメラには備えなければならない三つの重大な要素がある訳であります。

◆カメラの3大要素

カメラを構成する3つの要素とは……

カメラの構造を大別すると、レンズ シャッター母体の3つの部分に大別出来ますが、この3つの要素は写真を撮るために絶対に必要な要素であると共に又撮影のための条件を課せられている訳であります。その条件とは……

1. 正確に焦点を合せられること。
2. 適正な露出時間を与えられること。
3. 正しい視野を得ることが出来ること。

であります。これらの条件を満すためには、レンズ、シャッター、母体が各々完全な働きが出来るものでなければならぬのです。

では次回はレンズに就いて説明します。

(T・N)

生教シリーズ………③

仕事の心がまえ

あなたは、組織の大切な人であり、社会にとっても有用な存在です。自信のもてる仕事をしよう。

① あなたの仕事は、どんな役割を果しているのでしょうか。

あなたが作るカメラは、お客さまに喜ばれて社会の役に立っています。自信のもてる製品を作りましょう。

② あなたが作っている部品や組立品はカメラのどの部分でしょうか。

製品のはたらきのなかのどんな役割を果しているのだろうか。図面や仕様書から、上役や先輩から、徹底的にくわしく調べましょう。作業の大切さを知るためにも……。

③ 正しい方法や道具で作業しているのでしょうか。



油断やズボラは禁物です。自分にはずかしくない仕事ぶり、よいものを作りましょう。利用するお客様に喜ばれてこそ、物を作る喜びがあるのです。

生産教育部

●コーナー

「与太郎!金魚どうしたの」
「ネコがくわえて行きやした」
「見ていてと言ったでしょ」
「へい、ネコがくわえて行くのを見てやした」
忠実に実行するだけで事たれりとする人は落語の主人公——。

工夫を加えることに喜びがあるはず。私たちに心と頭があって、単なる歯車人間ではありませんから。

A・T